

## 第2回和束町子ども・子育て会議 議事録

日時：平成31年3月27日（水）13：30～

場所：和束町商工会館 研修室

委員：出席3名、委任状提出6名、欠席1名

### 1. 開会

### 2. 会長挨拶

柳澤会長より挨拶

### 3. 議事

#### ①アンケート調査結果（速報値）の報告について

事務局から、「【資料1】アンケート調査結果（速報値）」に関して説明を行った。資料に関する委員からの意見は以下の通りである。

委員：20ページで「現行の保育園に、教育機能を充実させる」という選択肢の割合が高くなってきているが、回答した保護者の方はどういった内容の「教育」を考えてこの選択肢を選んだのかが気になる。保育園がどのような指導を行ったら、保護者の方が「教育機能が充実している」と感じるのか。保護者が求めている内容はどのようなものだろうか。

委員：アンケート調査票で、「教育」に関する説明はどこに記載しているのか。

事務局：対象の設問の1つ前の部分に「幼児教育」についての説明を記載しており、その内容をふまえて、設問に回答する形となっている。

委員：アンケートに回答する方がその「幼児教育」の説明を理解して、この設問の「教育の充実」に繋がられているかも疑問が残る部分ではあると思う。

委員：小学校において求められるのは、「話をしっかりと聞く」や「集団行動ができる」といった心の部分であると思う。保育園ではそういった部分を学ぶことが大切なのではないかと思う。

委員：保護者の方が、そういった部分とはまた違う「教育」を想像している可能性もある。「英語」等をはじめとした「教える」ことへの希望があるという意味で、回答しているかもしれない。

事務局：アンケート調査票には、先程の意見のような「人と関わる力」や「好奇心・探求心・想像力」といった内容を「幼児教育」として記載している。しかし、この設問の「教育の充実」は、いわゆる「勉強」という内容で回答者は考えている可能性もあるということか。

委員：そう思う。「英語・速読・絵画」というようなプログラムは、保護者としてはやはり魅力的で、和束町においてもそういったものに取り組んでもらいたいと思もあるだろう。

委員：小学校が求める「保育園での教育」と保護者が求める「保育園での教育」が違っており、その違いがアンケート内容に反映されていない可能性もある。以後アンケートの機会がある際は、そういった部分も気を付けてもらいたい。具体的に「教育」の内容について選択肢を設けるのも良いと思う。「英語・速読・絵画」なのか、「話をしっかりと聞く」や「集団行動ができる」という部分なのか、選んでもらうのも良いだろう。

事務局：検討する。

委員：最近、虐待の問題が多く起こっており、和束町の保護者においても指導やしつけの方法に悩んでいるのを耳にする。そういった子どもとの接し方に悩む保護者の方に対して、なにか対策があればいい。子育ての講座を開催しているのは聞いたことがあるが、町としてはどういったことを行っているのか。

事務局：町としては「ペアトレ」として、子育てに関する講座や勉強会を実施したり、子育て世代の交流の場も設けたりはしており、実際に参加している方もいる。しかし現状として、そういった講座等に参加するための時間的余裕が、今の保護者の方にはないように感じている。そういった時間のない中でも、情報が提供できるような場を検討していくことは必要であると考えている。

委員：子育て世代の交流の場に参加している方の話は聞いたことがある。和束町の外からも参加される方もいて、交流が活発に行われているのはとても良いと思う。

委員：21 ページの子育て施策への評価について、「安心して育つための安全な環境づくり」という施策が重要度は高く、満足度が低い施策として挙げられているが、安心安全な環境という遊び場としての遊具等の整備等の他にどういったものがあるのか。

事務局：以前、他府県ではあるが、通学路の壁が壊れて児童が被害を受けた事例があったと思うが、そういった内容もこちらに含まれる。通学路に関しては、和束町においても点検を実施し、一部分、塀を取り壊す等の対応も実施している。また、変質者等の対応も含まれていると思う。

委員：変質者となると犯罪の話になるので、町では注意喚起の対応になると思うが。

委員：近年、カメラを持つ人に対する危機感が薄くなっている。子どもに対して再度注意喚起することも必要であると思う。

委員：やはり安心安全な環境というと、遊具や遊び場の充実が重要ではないかと思う。この部分に関しては、町としてどのような対応ができるのか検討することも必要だろう。

事務局：検討する。

委員：児童クラブの指導内容への意見もあるが、児童クラブでできる指導内容としては、事前に説明は実施しているのか。また放課後児童クラブは宿題を必ず終わらせるといった指導まではするものなのか。

事務局：児童クラブに入る際に、保護者に対して説明は行っている。宿題に関しても、宿題をする時間を一定設けてはいるが、全員が宿題を終わらせるまでの指導等は行わない。児童クラブは実際に保育する場ではなく、子どもたちが安全に過ごせる場を提供するものであるため、そういった指導は内容にはない。

委員：これから年度はじめということで、良い時期でもあるので説明は今後も実施して欲しい。

委員：「アンケート内容がわからない」という意見もあるが、アンケート内容等について意見をもらうための設問を設けてもいいのではないかと。「わかりやすかったか」「どこがわからなかったか」を書いてもらうとアンケートがより良くなっていくのではないかと。

事務局：検討する。

## ②保育園及び児童クラブの保育時間延長について

事務局から、「【資料2】和束保育園及びわづか児童クラブの保育時間延長について」に関して説明を行った。資料に関する委員からの意見は以下の通りである。

委員：女性の就労の割合が結果として高くなっているが、和束町はお茶の農家の割合も高いので、一般の市町村としての就労の割合とは少し違うことも含めて分析をお願いしたい。

事務局：承知した。

委員：話は少し変わるが、インフルエンザの予防接種の負担が大きいという話を聞く。予防接種に対する補助としては、今どのようになっているのか。

事務局：現在、未就学児に対しては補助を行っている。しかし、小学生には補助はない状態。こういった予防の部分に関しては、実施する方としない方がいるので、一律にすべて補助としてしまうと公平性が保てないという側面がある。その分医療費を無償化にして、負担の軽減を図っている。

#### 4. その他

事務局：来年度のスケジュールとしては第3回子ども・子育て会議を6月頃に開催させていただく予定としている。この会議では計画の骨子案を提示させていただきたいと考えている。あくまでも現時点での予定であるので、日程を含め詳細が決まり次第、各委員へ連絡させていただければと思う。

以上